

各部会からの報告

相談支援部会 報告

令和5年1月26日

1 部会開催状況（令和4年度第1回始良市地域自立支援協議会以降）

開催日	地域課題・検討事項	解決策・課題
令和4年 7月20日 (スーパーバイズワーキング)	一般の訪問看護事業所の受け入れ体制が飽和状態であり、重度身体障害の方の継続した在宅生活に支障がある。	複数の訪問看護事業所で支えるチームづくり、市外の事業所への相談、訪問医療マッサージなどの代替案の提供。
令和4年 8月10日	始良市内ヘルパー事業所も参加。 ヘルパー人材不足と高齢化による身体介護サービスの不足について協議。 相談支援事業所不足に伴う新規受け入れの困難さの共有、連携しやすいツールを協議。	・ヘルパー事業所により、現状の許容量にばらつきがある。 ・ヘルパー事業所同士の横のつながりがなく、学びの場が少ない。 「相談支援新規受入調査票」の導入。運用についてはモニタリングしていく。
令和4年9月21日（事例検討型グループスーパーバイズ）		
令和4年10月19日（霧島市合同事例検討型グループスーパーバイズ）		
令和4年 11月9日	初期面接場面での関係構築に関する技術や情報の共有。	多様な障害種別に対応していける連携体制や知識、技術の研鑽を行う。
令和4年 12月21日 (地域づくり GSV)	就労移行支援事業所が不足しており、就労経験のない方のB型利用の際、就労アセスメントが円滑に導入できない。	就労経験だけでなく、ボランティア経験も含めたアセスメント、B型だけではない就労の機会について情報共有。
令和5年1月18日（事例検討型グループスーパーバイズ）		

2 部会で抽出された主な地域課題等

- ア 複数のヘルパー事業所より、ヘルパー自身の高齢化や人材不足を理由とした撤退やサービス量の調整を依頼されることが増えてきている。
- イ ヘルパー事業所に横のつながりがなく、情報共有や相互の支援体制が不足している。
- ウ 障害を抱える当事者だけでなく、家族も含めたアプローチを行わないと課題自体が解決できない事例が増えてきている。
(精神障害を抱えた親が療育が必要な子どもを養育しなければならないなど)

3 今後の予定

- ア GSVによる事例検討の積み上げとともに課題の集積と分析を行う。
- イ 相談支援事業の質の担保のための取り組みと障害福祉サービスとして利用しやすいものにしていく工夫や手法を検討していく。

子ども部会

1 開催状況

	開催日	時間	協議事項
1	7月19日(火)	10:00	○関係機関との連携について ・福祉と教育の連携について Zoomと参集にて
2	9月20日(火)	10:00	・保育と療育の受け入れの在り方について Zoomと参集にて
3	11月15日(火)	10:00	・医療的ケア児の支援について Zoomと参集にて

2 部会から見てきた始良市の課題等

- 保護者の感じる困り感と学校での困り感にギャップがある事案等に対して保育所等訪問事業や相談事業の担当者会議など事業の理解を促進していく必要がある。ふれあい教室、フリースクール、通信制など学びの場の多様性が認識されるようになり連携が必要になると考えられる。
- 保・幼・こども園・療育機関にアンケートを取らせていただき、子供さんの事に関して担当者で話し合いがしやすい時間帯、意見集約などの共有をおこない、書面での提供については始すくファイルの利用を促進する。紹介状を利用する事での医療との連携、診断の活用について共有を行う。子ども発達支援に関するシートについてモデル事業を行なった結果、子どもの特性等について共通理解ができ、グラフ化できるので分かりやすい、保護者、関係機関と成長を認識しやすく、振り返りが図りやすい、時間がそれほどかからないとの意見があり、始良市の園に配布を行う。今後の活用を検証していく。
- 園が医ケア児保育支援の補助事業を受けるにあたっての流れについて確認。出生病院からの引継ぎ、フォローについて確認。医ケア児の卒業後の行き先についてアンケート調査をおこない見通しをつける。課題として土日の入浴、ショートステイ、レスパイト先、緊急時、災害時の受け入れ先が無い。入園を希望するときに保護者が探し回らなければならない。入園する際に園に訪問看護の利用ができないかとの意見がある。

3 今後の予定

開催予定日	内容
1月17日(火)	配慮を要する家族への支援と連携
3月14日(火)	今年度の活動まとめ及び次年度に向けて

4 研修会

開催予定日	内容
1月21日	医療的ケア児等の支援及び関係機関の受け入れの現状について

就労支援部会

1 開催状況

	開催日	時間	協議事項
1	令和4年6月21日(火)	15:30~16:30	<ul style="list-style-type: none"> ○新規部員・事務局紹介 ○今年度の計画について ○ワーキンググループ報告
2	令和4年10月25日(火)	15:30~16:30	<ul style="list-style-type: none"> ○事例発表 <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人 自立支援センター愛ら サンテリア愛ら サービス管理責任者 小原喜久美氏 「難病をもつ利用者の一般就労への取り組み」 ・一般社団法人 愛絆 コミュニケーション AREA 管理者 銚之原竜児氏 「一般就労に結び付いた事例」

2 今年度の活動方針、主な活動等

- 令和4年度は年間3回の部会実施（事例発表等）
- 第6期障がい福祉計画に沿った議題での部会実施
- 毎月、ワーキンググループの実施
- 部会以外に合同研修会の実施

3 今後の予定

開催予定日	内容
令和5年2月21日(火)	・未定

精神保健福祉部会

1 今年度の活動方針、主な活動等

地域移行・地域定着の推進，資質向上の研修会開催，計画の進捗確認

2 開催状況

	開催日	時間	協議事項
1	5月25日(水)	15時～16時20分	活動・研修計画，地域活動支援センター事業紹介
①	5月25日(水)	16時30分～17時15分	地域移行・推進に係るコア会議，R3年度地域移行申請事例報告
2	8月24日(水)	15時～16時30分	地域移行・地域定着の概要と事例を元に推進と円滑な定着について意見交換（ZOOM開催）
3	12月21日(水)	15時～16時30分	研修「アルコール等依存症からの回復について」体験者報告 鹿児島おいどん DARC 施設長他3名

3 今年度の活動の振り返り及び次年度にむけて

- ・障害者の日中利用できる施設として始良市地域活動支援センターでいろいろな活動を支援していることを共有した。
- ・地域移行・推進に係るコア会議を開催した。精神科病院，相談支援事業所，行政担当者と直接この事業を利用する関係者で昨年利用した事例報告を課題も含め行った。相談支援専門員，病院それぞれの立場で工夫したことや取組を質疑も交え報告した。行政担当者や事業活用しない医療機関関係者とも事業活用内容や課題の理解が深まった。
- ・2回目の専門部会でも上記会議で報告した事例をもとに説明することで，他の部会員も具体的に事業活用について理解できる機会となった。
- ・アルコール研修会は，依存症体験者の報告を聞くことで貴重な学びの機会になったとの感想が多数寄せられた。アルコールや薬物から回復しようとしている人たちの姿は支援者を元気づけた。
- ・次年度の部会の内容については，地域移行推進と定着の場として生活の場の提供をしているグループホーム支援者との意見交換等行って行きたい。